

**参考資料**

## **病床機能報告の集計結果について**

## <病床機能報告制度>

### 高知県における機能別病床数の集計結果

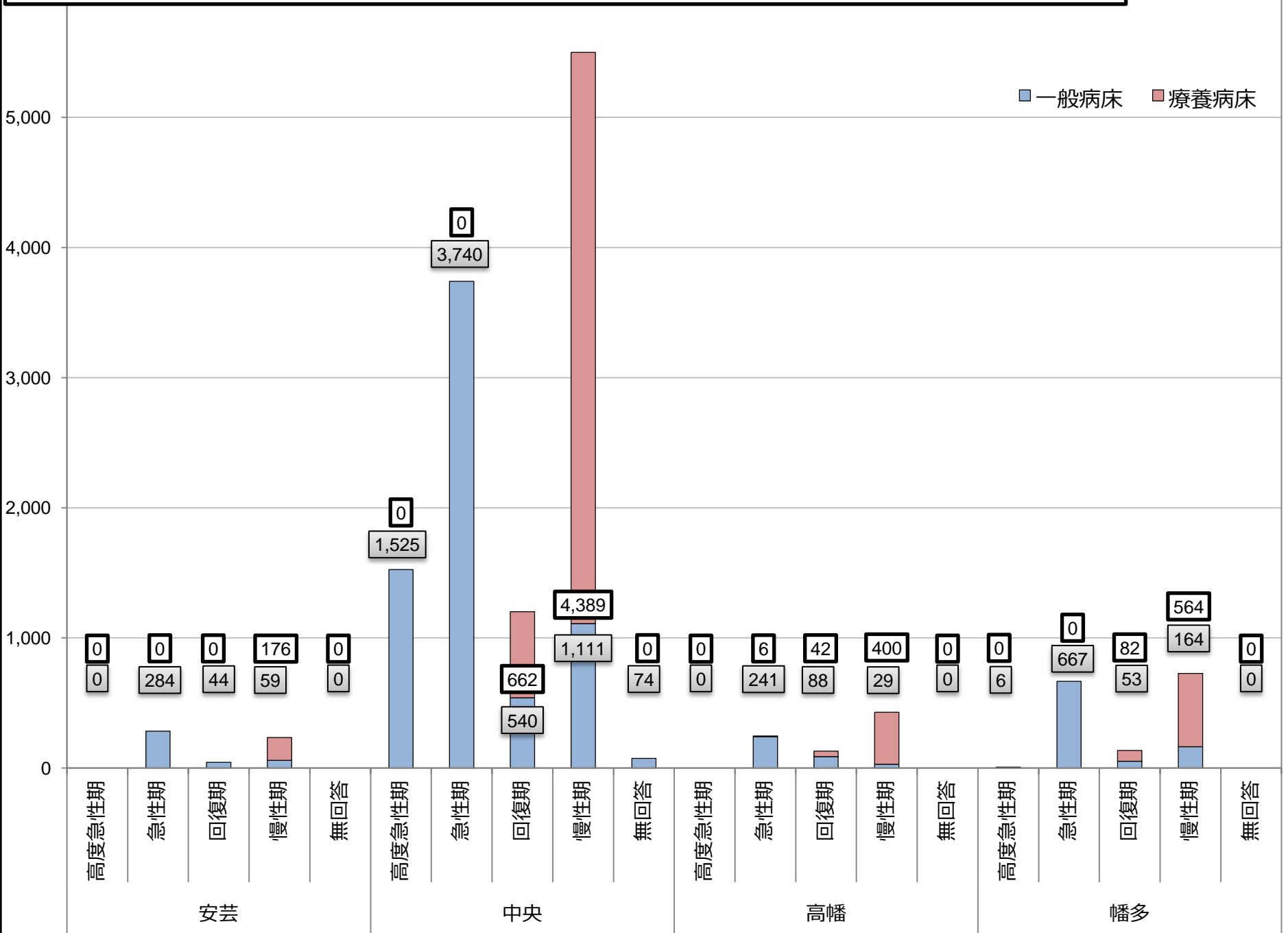
- 以下の集計は、2月16日までに報告があり、データクリーニングが終了している医療機関におけるデータを集計した結果です。
  - ・ 報告対象となる病院119施設、有床診療所87施設のうち、2月16日までに病院117施設（98.3%）、有床診療所83施設（95.4%）が報告済みです。
  - ・ このうち2/16時点でデータクリーニングが完了した病院111施設（94.9%）、有床診療所63施設（75.9%）のデータを集計しました。
  - ・ 集計対象施設における許可病床数合計は、14,946床。  
（なお、平成27年2月28日時点の許可病床（一般、療養）の総数は16,129床）
  - ・ 今回の集計対象施設についても追加のデータ修正等が生じる可能性があり、集計内容は変動し得えます。

今回公表値

	報告対象施設数	報告済施設数	集計対象施設数
病院	119	117(98.3%)	111(94.9%)
有床診療所	87	83(95.4%)	63(75.9%)
(病床数)			(14,946床)

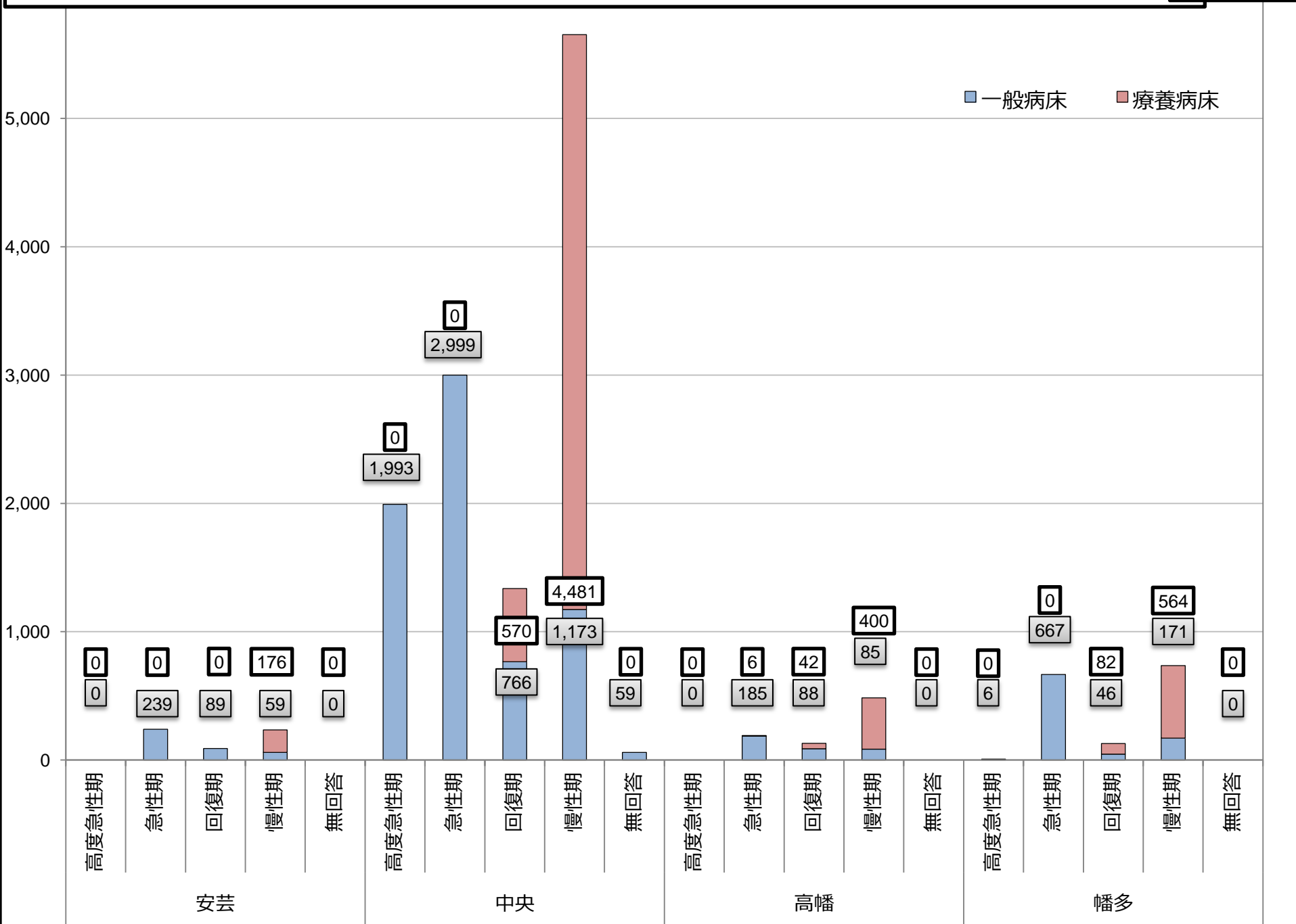
(高知県) 一般病床、療養病床別の許可病床数〔2014(平成26)年7月1日時点の医療機能〕

参考資料



(高知県) 一般病床、療養病床別の許可病床数〔6年が経過した日における病床の医療機能の予定別〕

参考資料



## 高知県における現時点から6年後への変更の動向について

- 以下は、2014年7月1日時点の病床の機能区分の選択状況と、6年後の病床の機能区分の選択状況とをクロス集計したものである。

括弧内の構成比は、2014年7月1日時点の病床数を分母として場合の、6年後の各機能区分の構成比である (床、%)

		2014年7月1日時点での病床の機能区分				未選択 (※2)	集計対象計
		高度急性期 1,531 <11.4%>	急性期 4,938 <36.6%>	回復期 1,511 <11.2%>	慢性期 6,892 <51.1%>		
6 年 後 の 病 床 の 機 能 区 分	高度急性期	1531 (100%)	468 (9.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0	1,999
	急性期	0 (0.0%)	4074 (82.5%)	22 (1.5%)	0 (0.0%)	0	4,096
	回復期	0 (0.0%)	248 (5.0%)	1390 (92.0%)	30 (0.4%)	15	1,656
	慢性期	0 (0.0%)	148 (3.0%)	99 (6.6%)	6862 (99.6%)	0	7,109
	未選択(※1)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	59	59

(※1) 2014年7月11日時点の病床機能区分は選択しているが、6年後の病床の機能区分の予定が見選択である病床数

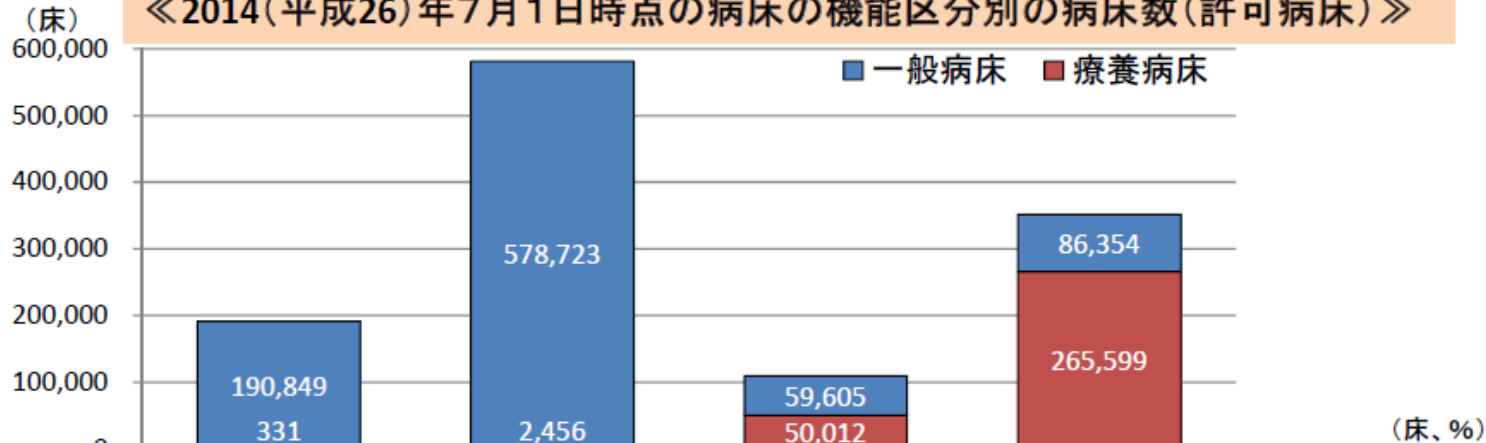
(※2) 6年後の病床機能区分は選択しているが、2014年7月11日時点の病床の機能区分の予定が見選択である病床数

病床機能報告制度における病床の機能区分の報告状況【速報値(第3報)】

○ 以下の集計は、平成27年3月2日時点でデータクリーニングが完了し、集計可能となった医療機関におけるデータを集計した速報値である。

- ・報告対象の病院7,402施設、有床診療所7,626施設のうち、平成27年2月16日までに病院7,268施設(98.2%)、有床診療所6,874施設(90.1%)が報告済み。【※前回速報値(第2報)の報告率は病院97.2%、診療所86.1%】
- ・このうち、3月2日時点で、全病棟の機能区分の選択が確定した病院6,996施設(94.5%)、有床診療所5,996施設(78.6%)のデータを集計。(休床中等の理由により4つの機能区分のいずれも選択していない病床(未選択)を含む)  
【※前回速報値(第2報)の集計率は病院86.3%、診療所64.5%】
- ・集計対象施設における許可病床数合計は、1,247,363床。【※前回速報値(第2報)では1,139,394床】  
(cf. 医療施設調査(動態)における平成26年6月末時点の許可病床は一般999,657床、療養339,983床、合計1,339,640床)

《2014(平成26)年7月1日時点の病床の機能区分別の病床数(許可病床)》

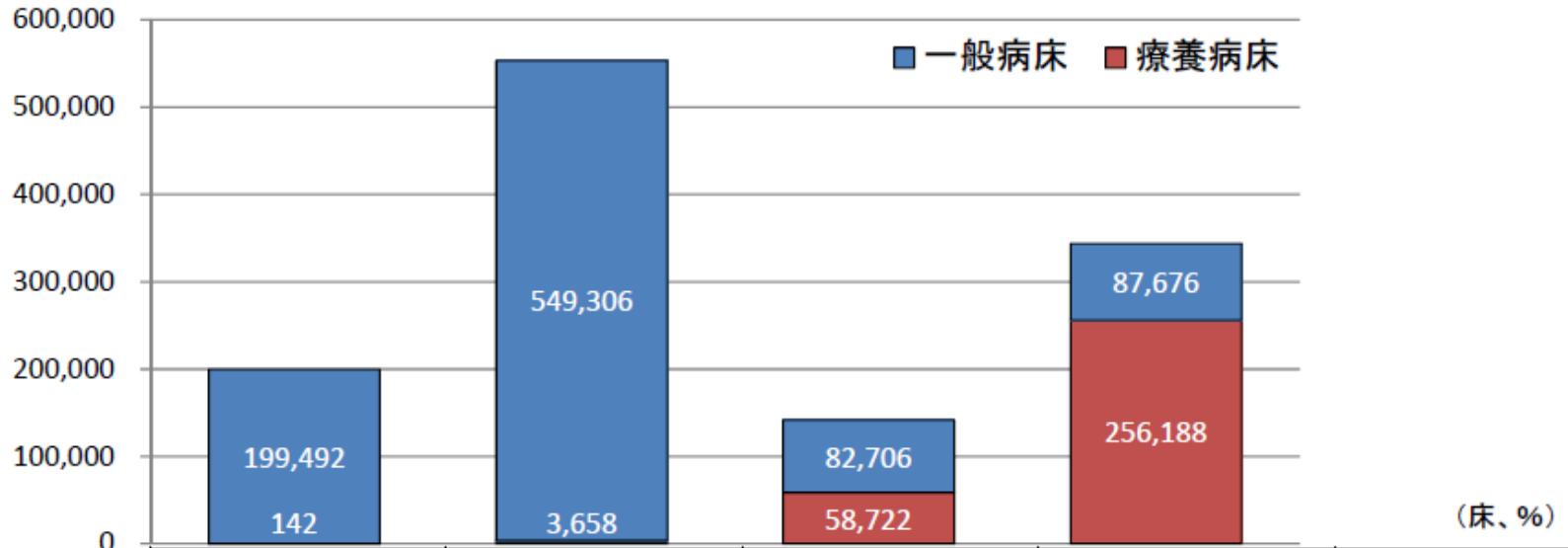


	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	190,849	578,723	59,605	86,354	915,531
療養病床	331	2,456	50,012	265,599	318,398
合計	191,180	581,179	109,617	351,953	1,233,929
構成比	15.5%	47.1%	8.9%	28.5%	100.0%
前回速報(H27.1.26時点)の構成比	15.6%	47.2%	9.1%	28.1%	100.0%

(注)集計対象1,247,363床のうち、現時点の病床の機能区分について未選択の病床が13,434床分あり、上表には含めていない。

《6年が経過した日における病床の機能区分の予定別の病床数(許可病床)》

(床)



	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	199,492	549,306	82,706	87,676	919,180
療養病床	142	3,658	58,722	256,188	318,710
合計	199,634	552,964	141,428	343,864	1,237,890
構成比	16.1%	44.7%	11.4%	27.8%	100.0%
前回速報(H27.1.26時点)の構成比	16.3%	44.7%	11.7%	27.3%	100.0%

(注)集計対象1,247,363床のうち、6年後の病床の機能区分の予定について未選択の病床が9,473床分あり、上表には含めていない。

## 現時点から6年後への変更の動向について

○ 以下は、2014年7月1日時点の病床の機能区分の選択状況と、6年後の病床の機能区分の選択状況とをクロス集計したものである。

括弧内の構成比は、2014年7月1日時点の病床数を分母とした場合の、6年後の各機能区分の構成比である (床、%)

		2014年7月1日時点の病床の機能区分					未選択(※2)	集計対象計
		高度急性期	急性期	回復期	慢性期			
		191,180 (100.0%)	581,179 (100.0%)	109,617 (100.0%)	351,953 (100.0%)	13,434	1,247,363	
6 年 後 の 病 床 の 機 能 区 分	高度急性期	189,849 (99.3%)	8,435 (1.5%)	160 (0.1%)	183 (0.1%)	1,007	199,634	
	急性期	543 (0.3%)	543,102 (93.4%)	1,904 (1.7%)	3,214 (0.9%)	4,201	552,964	
	回復期	370 (0.2%)	21,022 (3.6%)	105,605 (96.3%)	13,608 (3.9%)	823	141,428	
	慢性期	294 (0.2%)	6,323 (1.1%)	1,737 (1.6%)	334,316 (95.0%)	1,194	343,864	
	未選択(※1)	124 (0.1%)	2,297 (0.4%)	211 (0.2%)	632 (0.2%)	6,209	9,473	

(※1) 2014年7月1日時点の病床の機能区分は選択しているが、6年後の病床の機能区分の予定が未選択である病床数

(※2) 6年後の病床の機能区分の予定は選択しているが、2014年7月1日時点の病床の機能区分が未選択である病床数